

抗夫は労働者中、最も代表的なるもの也。其労働の性質に於ても、其数に於ても、常に抗夫は他の労働者の先頭に立てり。而して抗夫は敢て於ても亦全労働者中の大多数を占む。從而して先づ堅實なる團結を構成し他労働者に示さざるべからざる也。而して労働者の團結は先づ同職労働者の團結を以て第一要件とす。漫然、多種多様の労働者を集合し、是に向つて無責任なる煽動的言辭を弄することも、是は労働者にたり百害ありて一利無き也。吾人は労働者の眞實なる向上を根本目的とす。吾人は同職労働者の團結を缺く労働組合は無價値なりと信ず。是れ我が全國坑夫組合が堅く會員を坑夫に限る所以也。

全國坑夫組合は全日本の鑛山及炭山に労働する坑夫の總同盟也。労働者の團結は決して一地方に限局すべからず。必ず全國の同職労働者の大同團結ならざるべからず。英國、獨逸、佛國、米國等の坑夫組合を見るに常に全国的に相結合し統一的聯絡を保ちて活動しつゝあり。我が全國坑夫組合も亦全日本の坑夫の統一的機關たることを目的とするもの也。

全國坑夫組合は別刷趣旨書の如く共済、法律事務、労働爭議調停、教育、職業紹介の五大事業を經營す。漫然労働者を團結するも事業を行はざれば労働者にとりて何の益する處あらんや。本組合は全坑夫階級の地位と智識と技術との向上の爲めに以上の五大事業の經營に任ずるもの也。

今や労働問題の聲、全國に漲り、諸種の險惡なる思潮は全労働階級を襲はんとす。吾人は労働者を解せず、また労働者を益することなき空想家の奇矯の言辭を排す。労働者は實利的に向上し發達し行かざるべからず、此秋に當り堅實なる同職組合を設立することは實に焦眉の急たる也。

全國の坑夫諸君。我が全國坑夫組合は諸君の中央機關として生れたり。本組合は諸君の家也。諸君の故郷也。本組合の設立者は諸君の安寧と幸福との確立を終生の目的とす。冀くば來りて全國坑夫の總同盟たる本組合に加盟せよ。

右設立に當り宣言す。

東京市麻布區今井町九番地

全國坑夫組合本部

會長	河井 榮藏
副會長	石渡 春雄
共濟主任	高島 信次
庶務主任	坂口 義治
會計主任	中村 英作
地方主任	田山 正造
顧問	吉野 茂學
帝大教授	佐野 野學
法學博士	河野 武平
法學博士	藤本 菊男
法學博士	大槻 嘉幸
法學博士	今井 幸一
法學博士	赤松 克麿
法學士	宮崎 龍介
法學士	新道 正一

趣意書

一 全國坑夫の大同團結

全國坑夫組合は全日本の坑夫諸君の大同團結である。總同盟である。北は樺太、南は朝鮮、滿洲に至るまで、苟くも日本の領土内に於ける鑛山及炭山に労働する坑夫諸君は當然此組合に加入する権利を有するのである。

労働者の地位は一人々々にては經濟上も法律上も甚だ弱い。然し一旦、團結を遂げたならば労働者は強いものはない。近時に至り、労働問題が盛に論ぜらるゝに至つたが、不幸にして我國には未だ基礎の堅實なる労働者の團結が存在しないのである。鑛山労働に従事する坑夫諸君の間にも同様に未だつかりした團結が出来て居らない。

思ふに坑夫は労働者の代表的なものである。其労働の性質に於ても、其数に於ても、坑夫は全労働階級の先頭に立つものである。坑夫は一日も早く堅實強固の團結を構成して他の労働者に示さなければならぬ。

わが全國坑夫組合は此總同盟の潮流に従ひ、全國坑夫諸君の爲めに、また他の労働者の先頭として奮立ちたいのである。

諸君。來りて全國坑夫組合に加盟し諸君

三 本組合の五大事業

労働者は漫然、團結しても、何にもならない。社會的地位の増進を許さねばならない。わが全國坑夫組合は漫然たる團結を目的とせず、遂行を根本目的とするのである。

1 共済

鑛山労働は甚だ危険の伴ふ労働である。抗夫を損し又大怪我をなし、一生を瘡痍のうちへ送らねばならぬ。吾人は労働者を救ふ爲めに坑夫の間では古くより本願帳の制度が出来て居るのである。然し本願帳には色々たるりして居て却て病氣を重くする。また少くも、そこの我が全國坑夫組合では本組合に附帳の形式であつてもよい。然し輕微の病人に從ひ發病地にて治療を加ふるも全治せざる

2 法律事務

今日の法律は甚だ複雑であつて、普通の人失を招くことがある。我全國坑夫組合では其法律上の権利の主張をなし、また一般人

3 職業紹介

坑夫諸君の中には事業の都合で急ぎに職を得る必要がある。また鑛山主の中には急いで坑夫が任用される。全國坑夫組合は平生から全国的労働調査坑夫の任用の鑛山主には被雇者を紹介し、以

4 労働爭議調停

賃銀や労働時間や設備等の労働條件に關し坑夫側と立つて鑛山主と交渉し正當の要求の起らぬやうに、その前に圓滿な解決を遂ぐる

5 教育

人間と生れて充分に教育を受けられぬほど教育を受け難い地位におかれて居る。我々は此雜誌の發行に依り坑夫諸君の知識を發達し、うと思ふのである。

四 組合員の權利義務

苟くも鑛山に労働する坑夫である以上、何れも組合に加入した人は何人も組合の事業から利益を得るべきである。吾人は入会金を二十五圓を納め其以後、毎

五 眞の労働問題の解決

今や労働問題の聲が全國に喧ましい。種々なせんどうしつゝある。吾人は労働者を解しない一利なきことを信ずる。同時にまた漫然、眞に労働者の權利を主張し利益を増進すること眞に労働問題を解決せんこそは堅實なる同職坑夫組合は此點に鑑み、會員を必ず坑夫に限つたのである。

全國坑夫組合御中

全國坑夫組合は坑夫諸君の中央の家である。目的とするのである。吾人は諸君の聯盟を希

入會申請書

No.	
姓名	
生年月日	
現住所	
本籍地	
職業	
紹介者氏名	
御組合の上義綱領及規則承知の上	右入
大正 年 月 日	右紹